

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
①	1 16点	(1)		技能表現	○右のうち1つだけ書いている。	3	○次のうち2つを書いている。 ・石垣を高くしている。 ・石垣で幾重にも取り囲んでいる。 ・まわりに大きな木が植えてある。 ・かわらがしっくいであめてある。 ・平屋である。	4
②		(2)		技能表現	○記号の部分にアと書いているが、理由が記述されていない。	3	○記号の部分にアと書き、その理由を次のような内容で書いている。 ・気温が年中高く、15℃を下回らない。 ・降水量が夏ごろに多い。 ・降水量が年間通して多い。 ・イの方は、気温がマックスになる月がある。 ・イの方は、降水量が少ない。	4
③		(3)		思考判断	○次のいずれかのみ記述している。 ・暖かい気候を生かしている。 ・他地域で生産しない時期だから ・多くの収入が望めるから	3	○冬でも暖かい気候を生かし、他地域で生産できない時期にキクを栽培し、出荷することで大きな収入が望めるから。	4
④		(4)		関心意欲態度	○取り組む内容について書いているが、具体的ではない。 ・無駄な消費を避けること。 ・リサイクル、リユースを進める。 ・植林する。森林を育てる。	3	○自分が取り組むことができる方法や決意を含めて記述している。 ・レジ袋をもらわず、マイバッグを持って買い物に行く。 ・資源(電気や水など)をむだづかいしないように心がけ、家族とも話し合う。 ・庭に木を植えて、育てる。	4
⑤	2 16点	(1)		知識理解			○次のいずれかを書いている。 道具：鉄や青銅を使った農具 弥生土器 技術：かんがい、土木工事、建築 金属加工	4
⑥		(2)	①	技能表現			○食べていたもの、住んでいた場所の両方が書いてある。 食べていたもの：魚(かつお、まぐろなど) 住んでいた場所：海の近く、海	4
⑦			②	思考判断			○2つの図を比べ、読み取った事実をもとに世の中の変化をまとめている。 ・農業が盛んになり、食料が豊富になった。 ・狩猟採集から栽培の割合が増えた。	4
⑧		(3)		思考判断			○ほかのむらとの争いがあったことを説明している。	4
⑨	3 33点	(1)		技能表現			・聖徳太子と資料ウを線で結ぶ。	4
⑩				技能表現			・福沢諭吉と資料アを線で結ぶ。	4
⑪				技能表現			・徳川家光と資料イを線で結ぶ。	4
⑫				知識理解			明治	3
⑬				知識理解			江戸	3
⑭				知識理解			飛鳥 (教科書が東京書籍の学校は古墳でも可)	3
⑮		(2)		関心意欲態度	○言葉を選び、調べたいことを書いているが、廃藩置県、徴兵令、官営工場と明治の諸改革と直接関係のないことを書いている。 ・官営工場では、何を作っているのか。	3	○社会のしくみが変わったわけ、江戸時代との違い、人々のくらしとのかかわり、外国とのかかわりなど歴史に関する内容について調べたいことを書いている。 ・そのしくみが必要だった理由を知りたい。 ・江戸時代までとの違いを調べてみたい。 ・その社会のしくみによって人々のくらしはどのように変わったのか知りたい。 ・そのころの外国の社会のしくみと比べてみたい。	4
					○知りたいことだけを選んでいる。	2		

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
⑩		(3)		思考判断	○大名の反抗を防ぐことを書いている。 ・抵抗できなくするため。 ・逆らわないようにするため。 ・戦いの準備をさせないため。	3	○そのきまりがあれば、大名が反抗できなくなるなどの理由をつけて大名の反抗を防ぐことを書いている。 ・大名が城を造ることは、幕府に立ち向かう準備を許すことになる。そこで大名の反乱をおさえるために、城造りや城の修理を禁止した。	4
⑪		(4)		技能表現	○選んだ条文がつくられたわけを書いているが、適当でない。 ・第1条 友達をふやすために。 ○十七条憲法の条文の1つを選んでいる。	3 3	○選んだ条文がつくられたわけを書いている。 ・第1条 争いごとがないように。 ・第2条 仏の教えを守るように。 ・第3条 天皇をうやまうように。 ・第12条 役人はより一層自分の仕事に励み、国のことを考えるように。	4
⑫	4 18点	(1)		技能表現	○資料1より農民の反抗を防ぐことや年貢を取り立てることだけを書いている。 ・農民が反抗しないようにするため。 ・年貢の米を取り上げるため。	3	○少数の武士が、多数の百姓(農民)などを統制するためにきまりが必要であったことを書いている。 ・少ない人数の武士が、多くの百姓(農民)の反抗を防ぐためにきまりをつくった。	4
⑬		(2)		思考判断	○絵から分かる事実を書いている。 ・田や畑をつくっている。 ・肥料をまいている。 ・道具(千歯こき)を使っている。	3	○絵から分かる事実をもとに、江戸時代の農民が工夫や努力したことを書いている。 ・田や畑を増やして、収穫量を増やす努力をした。 ・肥料をまいて、収穫量を増やす努力をした。 ・新しい道具を開発して、仕事が進めやすいようにした。	4
⑭		(3)		知識理解	○人物名に○をつけて、関係の深いことがらの言葉を2つ使い、正しく書いている。 ・杉田玄白は、蘭学を学んで解体新書を書いた。 ○人物名に○をつけて、関係の深いことがらの言葉を2つ使っているが、言葉の使い方が正しくない。 ○人物名に○をつけて、関係の深いことがらの言葉を1つを使って正しく書いている。 ○人物名に○をつけている。	3 2 2 1	○人物名に○をつけて、その人物が行ったことを関係の深いことがらの中から2つの言葉を正しく選び、わかりやすく書いている。 ・杉田玄白は、蘭学を学んで医学書を翻訳し、解体新書を書いた。 ・歌川広重は、東海道五十三次などの浮世絵を描き多くの人に親しまれた。 ・近松門左衛門が脚本を書いた歌舞伎は、芝居小屋で人々に楽しまれた。 ・伊能忠敬は、天文学や測量の仕方を学び、日本全国を歩いて日本地図をつくった。	5
⑮		(4)		関心意欲態度	○自分だけが心がける内容を書いている。 ・ゴミを落とさないようにする。 ・地域の文化財を大切にするように心がける。 ・地域の祭りに参加する。 ○関心があるものの名前を挙げている。	3 1	○自分だけでなく、社会貢献の視点も含めて心がける内容を書いている。 ・貴重な文化財であるので、長くきれいに保存するために、友だちと一緒に清掃活動などのボランティア活動を行う。 ・友だちと相談して募金活動を行い、そこで集まったお金を保存活動のために生かす。 ・祭りや伝統行事を守り、伝えていきたい。	5
⑯	5 17点	(1)		知識理解			平城	4
⑰				知識理解			平安	4
⑱		(2)		思考判断	○天皇や貴族から離れて政治を行いたいことを書いている。 ・天皇や貴族がいる都から遠くはなそうと思って。 ○武士の勢力が強い地域であることを書いている。 ・源頼朝を応援する武士がたくさんいるところだから。	3 3	○武士が政治をするときに天皇や貴族の力が政治に及びにくくすることを書いている。 ・それまでの貴族中心の政治から武士中心の政治にするために、また、天皇や貴族の力が及ばないように政治の中心を鎌倉においた。	4
⑲		(3)		思考判断	○言葉を1つ以上使っているが、その重要性を理由をつけて述べていない。 ・情報を得ることが大切。 ・交通が便利である。 ・地形が守りやすい。	3	○言葉を1つ以上使って、その重要性を理由をつけて述べている。 ・各地の情報を得ることができるように交通が便利な所がよいが、敵から攻め込まれないように関所などを設けやすい土地を選ぶことも大切。	5